

§5 スカウト運動

第1日 18:30~19:30 (90分) 担当: 郡司 美津江

目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. スカウト運動の一貫性について理解する。
2. 各部門の特徴について理解する。
3. 「ちかい」「おきて」について理解する。
4. 「セーフ・フロム・ハーム」について理解する。

指導上のねらい

1. スカウト運動は一貫性を有しておりスカウト活動を続けることにより、スカウトの成長とともによりよき社会人になっていくことを理解させる。
2. 各部門の訓育、教育と活動の目的について理解させる。
3. 行動規範である「おきて」を守り実践することが「ちかい」の実行につながることを理解させる。
4. 「おきて」の実践が活動の活性化につながることを理解させる。
5. 「セーフ・フロム・ハーム」の内容と取り組み方法について理解させる。

セッション展開上の留意点

- (1) 日常生活での「おきて」の実践が「ちかい」の実行につながり、原理に基づくスカウト運動の目的が達成されることを強調する。
- (2) 活動や日常生活を通して多くの「おきて」指導の機会があることを知らせる。

準備品(資材・資料)

- ・ 基本原則
- ・ 日本連盟規定集
- ・ セーフ・フロム・ハーム ガイドブック

セッションの展開

時間	
18:00	1. 導入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (10分) 体を使ったアイスブレイクを行う
18:10	2. 展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (80分) (1) スカウト運動の原理と一貫性 ①「ちかい」と「おきて」は原理に基づいて表現し、定められていることを確認する。 日本連盟における「ちかい」と「おきて」は世界スカウト機構の「原理」に基づいて日本の文化や適切な言葉で表現されていることを確認する。 ②スカウトプログラムは青少年の発達段階に基づいており年代に応じた「ちかい」と「おきて」が定められている。 「ちかい」と「おきて」はボーイスカウト年代から適用しBVSは「やくそく」と隊の「ビーバー隊のきまり」、CSは「やくそく」と隊の「カブ隊のさだめ」として表現されていることを理解する。 スカウト活動は5つの部門に分かれていて青少年の発達段階に基づいた一貫性を

19:20	<p>もった活動であることを理解する。</p> <p>(2) 各部門の訓育、教育と活動の目標</p> <p>①各部門の訓育、教育について理解させる。 部門ごとに説明し理解させる。ボーイスカウト講習会ノート使用する。</p> <p>②各部門の活動の目標を理解させる。</p> <p>(3) 「おきて」の指導</p> <p>①「おきて」は自らの生活行動を律する行動規範であることを再確認する。</p> <p>②「おきて」を守り日常生活を送ることは、スカウト活動の基盤であることを確認する。</p> <p>③隊長は、「おきて」の実践を通して社会の一員として基本的モラルを身につけるよう、あらゆる機会を活用して指導することを確認する。</p> <p>④「おきて」の実践が「ちかい」の実行につながることを、強調して説明する。</p> <p>(4) 「セーフ・フロム・ハーム」について</p> <p>①「セーフ・フロム・ハーム」の内容を理解させる。 ガイドブックについて説明する。</p> <p>②事前登録研修について知らせる。eラーニングについて説明する。</p> <p>③「セーフ・フロム・ハーム」セミナーが各地区で行うことを知らせる。</p> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none">・日常生活の「おきて」の実践が「ちかい」の実行につながり、原理に基づくスカウト運動の目的が達成せれることを強調し確認する。・活動や日常生活を通して多くの「おきて」指導の機会があることを知らせる。・
-------	--